

平成29年9月期 決算説明会

テーマ：中期目標の達成に向けた事業拡大への取り組みと成果

2017年11月6日

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

第51回

GMO PAYMENT GATEWAY

<https://corp.gmo-pg.com/>

当資料取扱上のご注意

本資料に記載された内容は、2017年11月6日現在において、一般的に認識されている経済・社会等の情勢並びに当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

アジェンダ

1. 2017年9月期 業績サマリー
2. 2018年9月期 業績予想
3. 今後の取り組みと成長戦略
4. 財務ハイライト
5. 参考資料等

1. 2017年9月期 業績サマリー

1.1 業績サマリー

営業利益31.3%増、決済処理金額も29.3%増の2.5兆円に

(百万円)	2016年9月期	期初計画	2017年9月期	前年同期比	期初計画比
売上高	12,113	18,767	21,794	+79.9%	+16.1%
営業利益	3,819	5,013	5,015	+31.3%	+0.0%
経常利益	3,780	4,673	4,739	+25.4%	+1.4%
当期純利益	2,910	2,762	2,948	+1.3%	+6.7%
EBITDA	4,191	5,811	5,919	+41.2%	+1.8%
一株当り配当額(円)	27.0	37.0	40.0	+13.0	+3.0

※EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却額

稼働店舗数 (期末)

決済処理金額 (概算 : 年度)

決済処理件数 (概算 : 年度)

KPI

82,349店 (+6.6%)[※]

2.5兆円 (+29.3%)

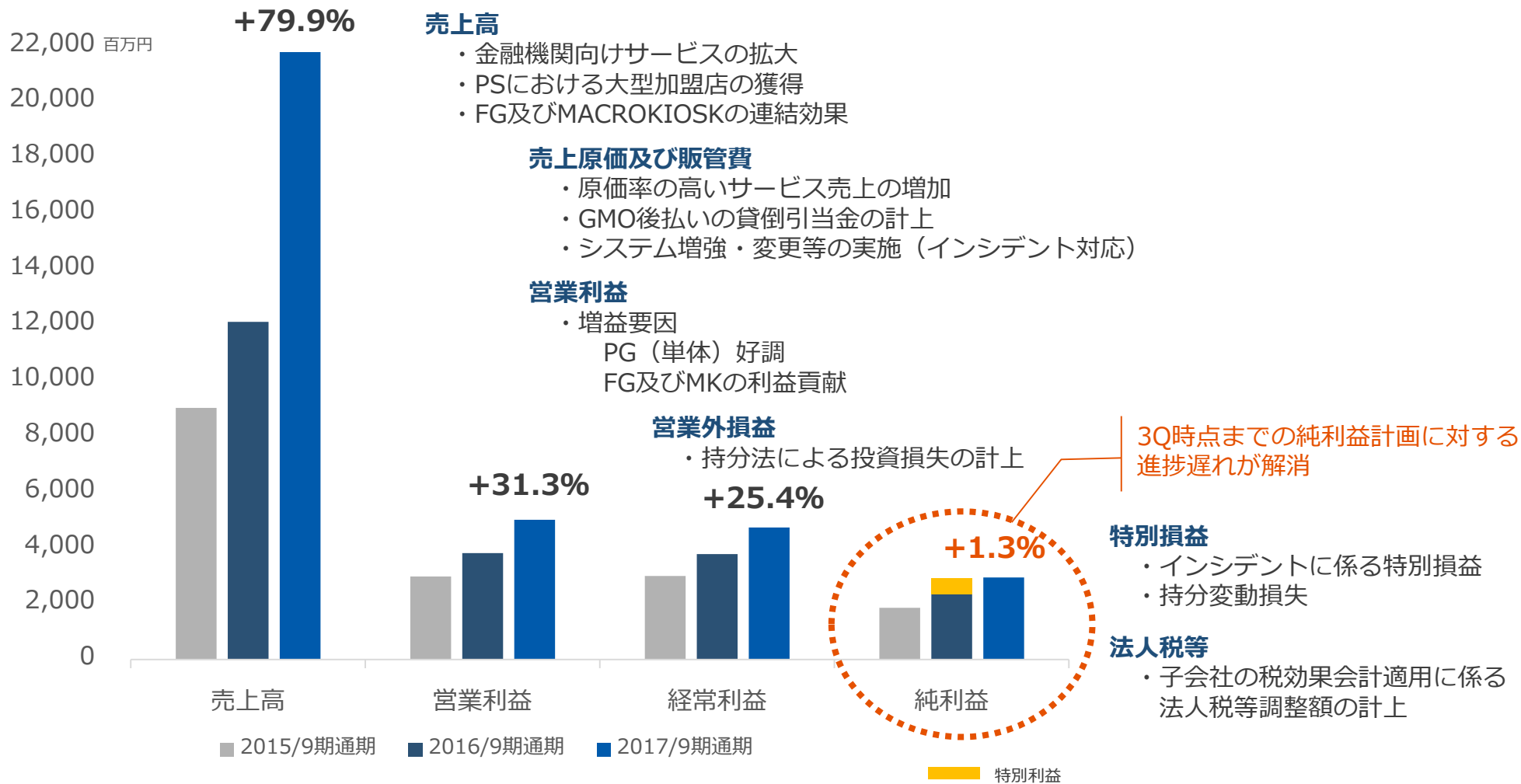
10.8億件 (+20.2%)

対面決済分は含まず、() 内は前年同期比

※一提携先のサービス停止に伴うまとまった休止の発生により過去と比較し伸び率が鈍化 (当要因を除くと18.5%増)

1.2 業績の変動要因

PSの税効果会計適用により純利益も前年度比・計画比ともにプラスで着地

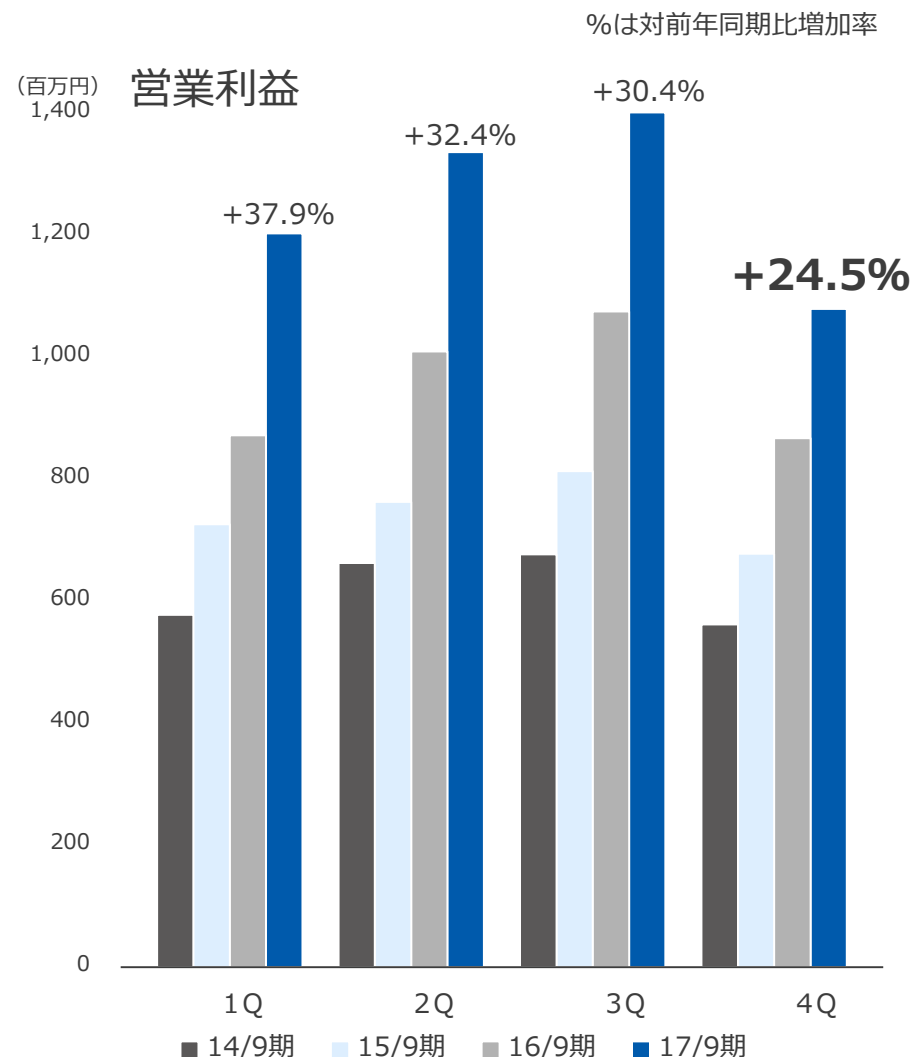
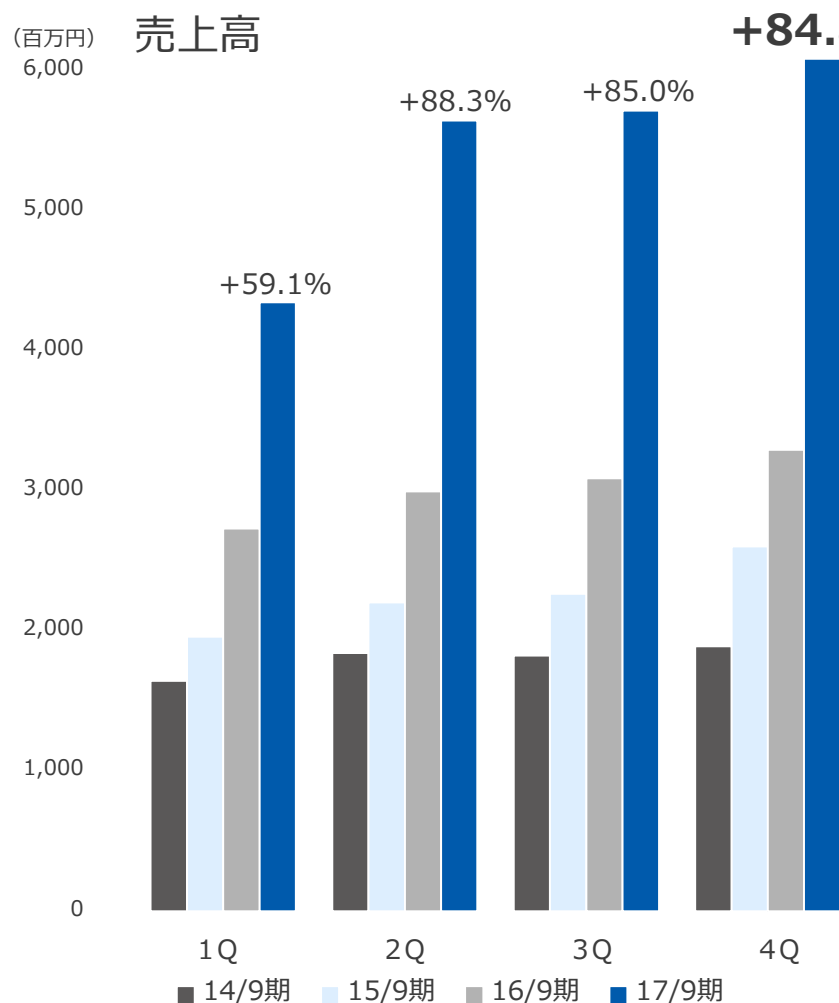


PS : GMOペイメントサービス、FG : GMOフィナンシャルゲート/GCS

1.3 四半期業績推移

売上高は前4Q比84.8%増、営業利益も同24.5%増

■ 2017年9月期 四半期業績推移（連結）

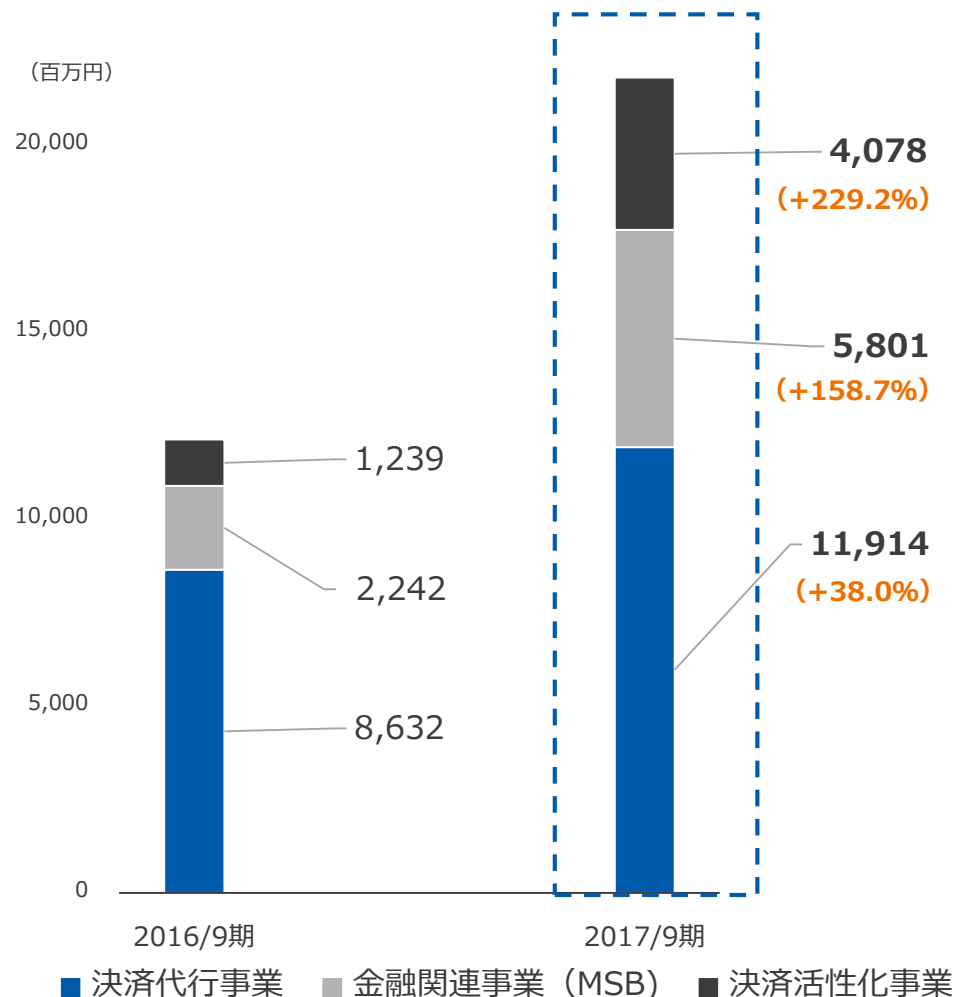


1.4 セグメント別売上高・営業利益

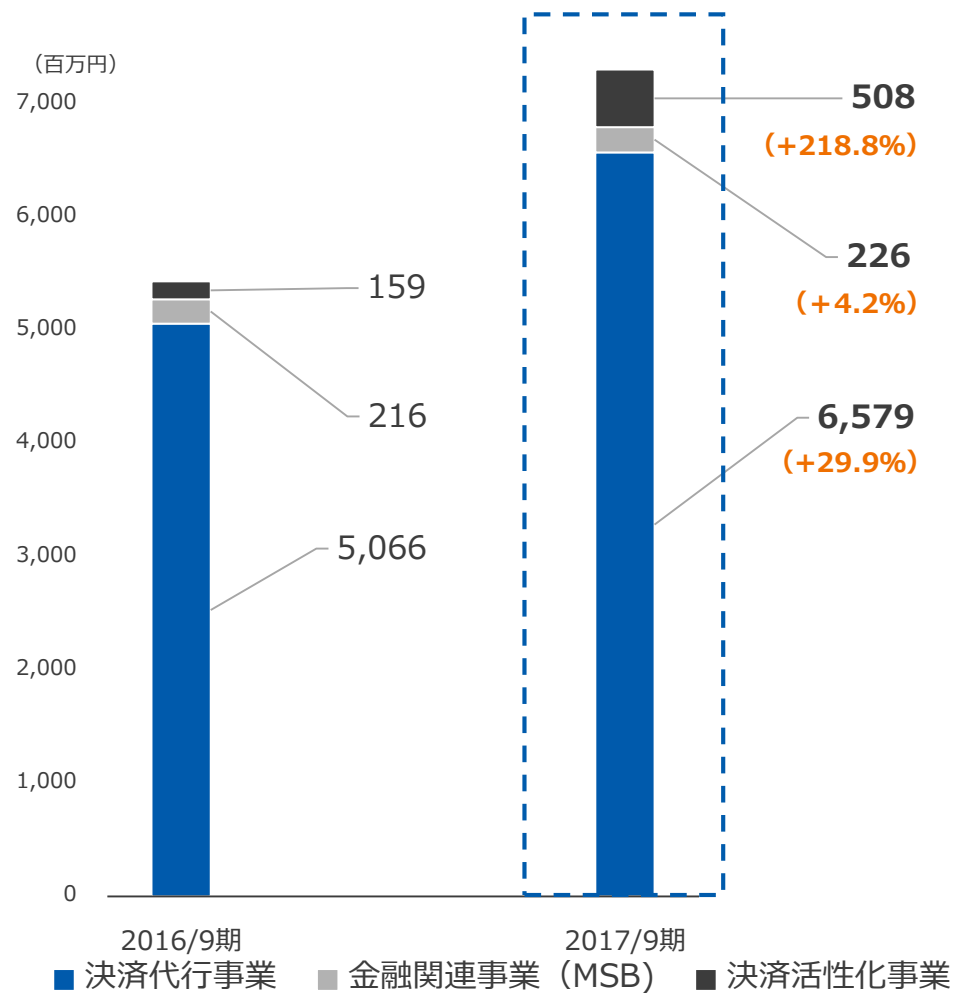
全セグメントで大幅増収、決済代行事業は約30%の増益

※ () : 前年同期比

■ セグメント別売上高

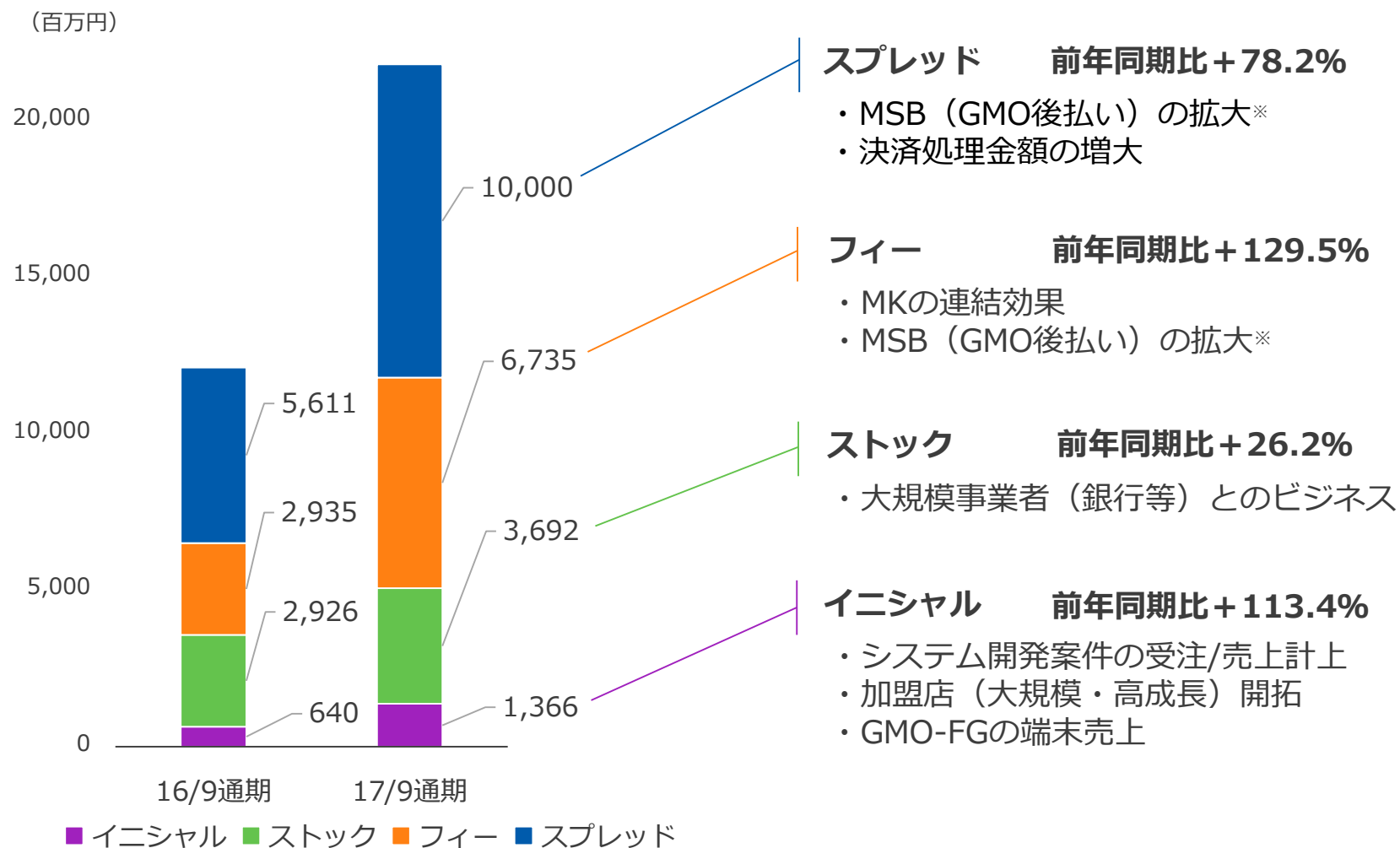


■ セグメント別営業利益 (連結調整前)



1.5 ビジネスモデル別売上高

全ビジネスモデルで25%以上の増収



※ 「GMO後払い」売上高を、当期2Qよりフィーとスプレッドに分割し集計しております。

1.6 2017年9月期 総括

急成長に伴う課題の解消、ビジネス基盤の見直しと強化に取り組んだ1年

ローライト

- ・「3.09」インシデント発生
 - ▶▶ 再発防止策の実施（対応済）
組織的安全管理措置
 - ・ 全社リスクガバナンス体制の強化
 - ・ IT リスクマネジメント体制の強化技術的安全管理措置
 - ・ Struts2廃止対応完了
 - ・ DB分割対応等
 - ・ SQLレベルでの不正アクセス検知
- ・ 不正取引への対処
 - ▶▶ サイトパトロールの実施等
- ・ 貸倒引当金の増加
 - ▶▶ 与信審査モデルのチューニング等により収益性改善

・ インシデントに伴う特損：約1.1億円

ハイライト

- ・ 金融機関向けサービス
 - ▶▶ 「GMO-PG プロセッシングプラットフォーム」への布石（2017/10/27プレスリリース）
- ・ 大手EC・通販企業の開拓
 - ▶▶ 1兆円プロジェクト
BtoB / サブスクリプション / コネクティッドカー
- ・ 後払い決済の急拡大
- ・ 事業ポートフォリオの拡大
 - ▶▶ BtoB市場 / 対面決済 / 海外事業

事業面

業績面

- ・ 15期（上場来12期）連続増収増益
増収率・増益率ともに東証1部上場来最高

2. 2018年9月期 業績予想

2.1 通期業績予想 (J-GAAP)

営業利益25%成長の継続をコミット

■ 2018年9月期

(単位：百万円、%は対前年度比増減率)

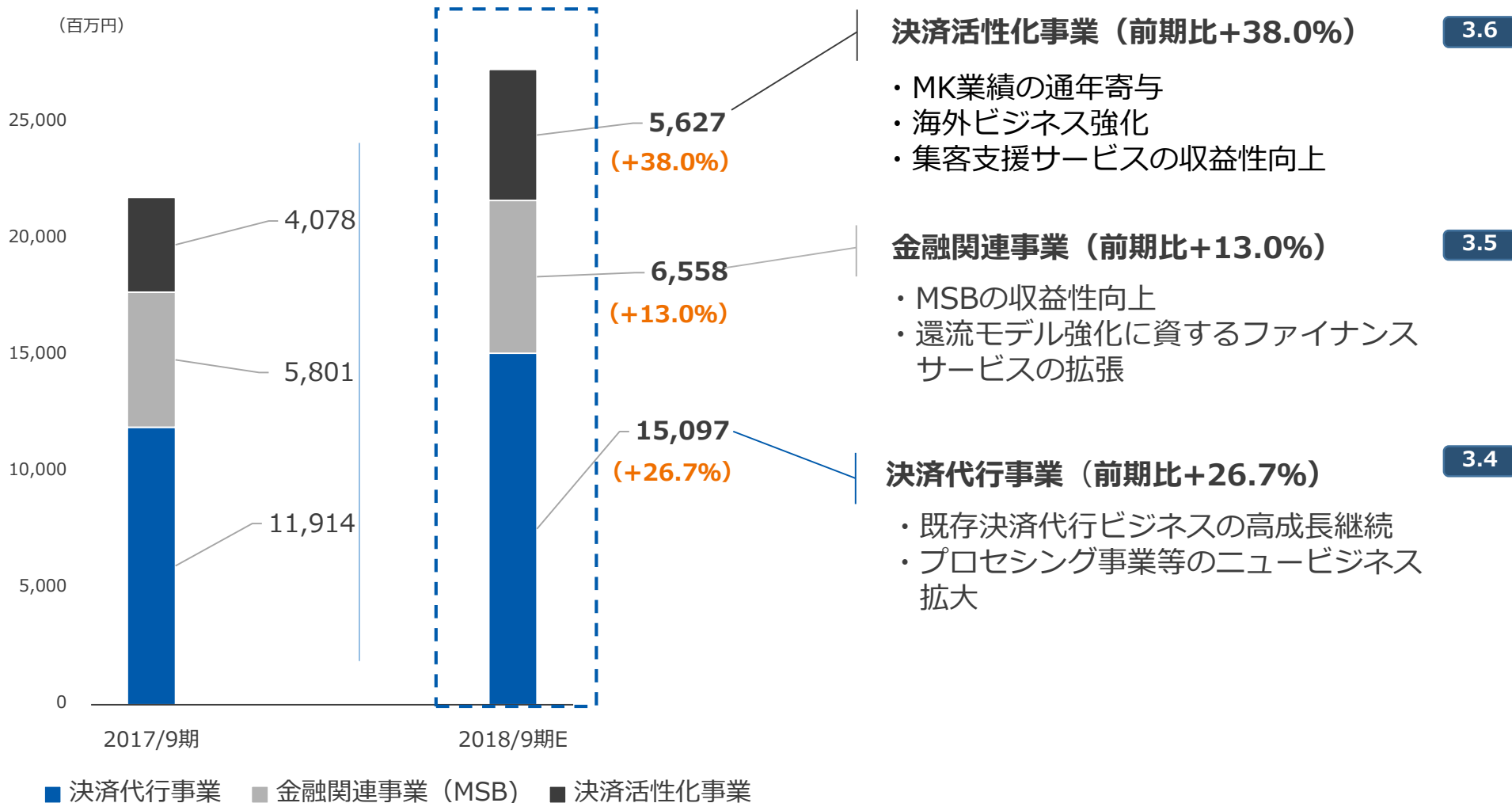
(百万円)	2017年9月期	2018年9月期	前年同期比
売上高	21,794	27,283	+25.2%
営業利益	5,015	6,269	+25.0%
当期純利益	2,948	3,635	+23.3%
EBITDA	5,908	7,594	+28.5%
年間配当金 (円)	40.0	49.0	+9.0

※EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

2.2 セグメント別の連結業績予想

目標達成のための施策

■セグメント別売上高



2.3 通期業績予想（IFRSベース）

連結業績見通し概要【日本基準 対 IFRS】

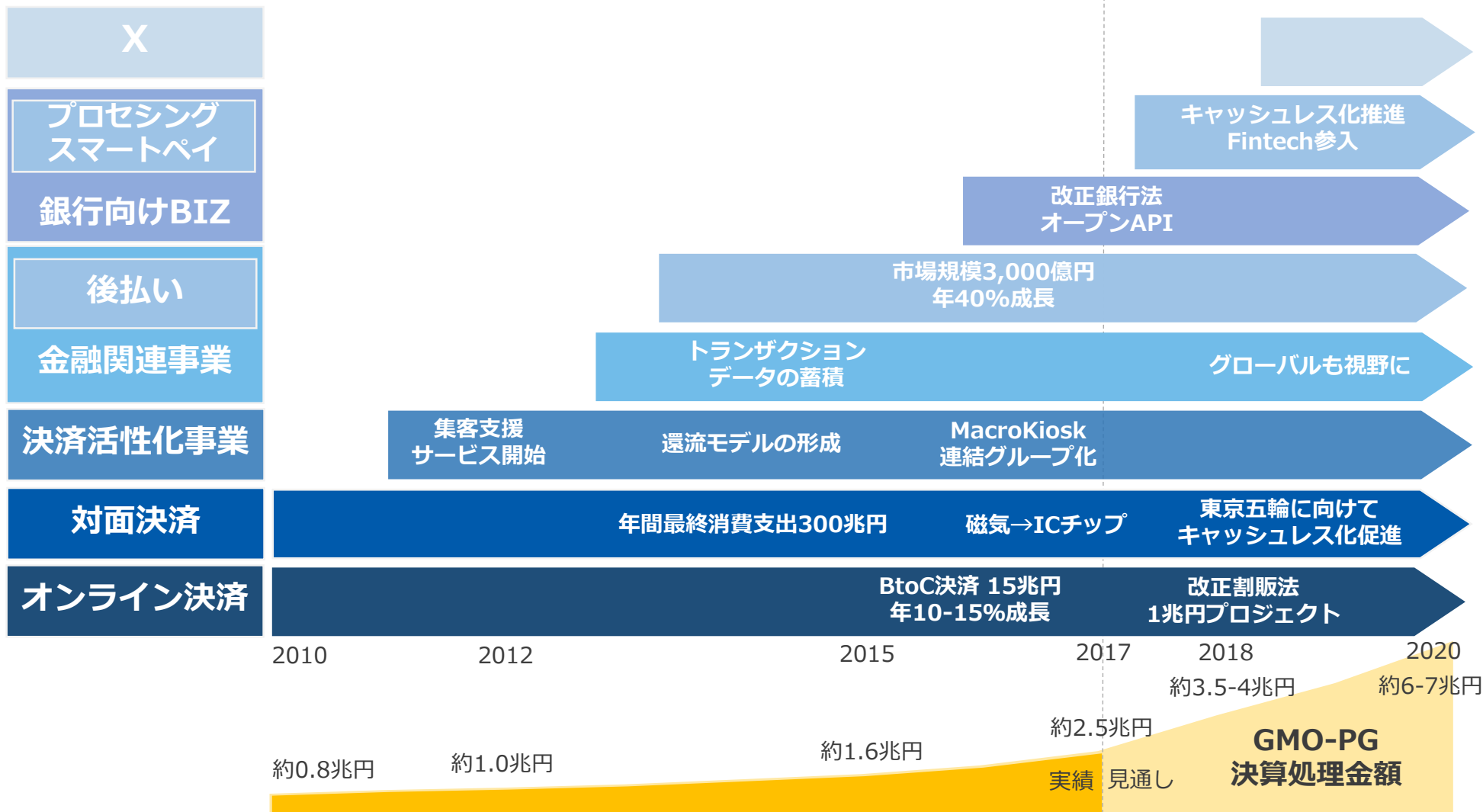
	2018年9月期 業績見通し				IFRS影響	
	日本基準		IFRS			
	(億円)	売上比 (%)	(億円)	売上比 (%)		
売上収益	272	100	261	100	-11	-4%
営業利益	62	23	64	25	+2	+3%

業績要因	売上収益		
		売上計上基準の変更 (グロス→ネット)	-15億円
	集客支援サービス	-8億円	
	ファイナンスリース	-7億円	
	MK売上計上の月ズレ	+3億円	
営業利益		のれん非償却	+2億円

3. 今後の取り組みと成長戦略

3.1 事業領域の拡大

決済代行事業から派生した各事業の市場規模が拡大、高成長を継続



3.2 短期展望：2017～2020

2020年営業利益100億円にむけた展望と施策

還流モデル確立フェーズ ～2017年

還流モデル強化フェーズ ～2020年

営業利益

50億円

100億円

決済処理金額

2.5兆円

6～7兆円

事業戦略

決済代行事業

- EC市場の成長と成長加盟店の開拓
- FGをグループ会社化
- 銀行とのアライアンス

- 改正割販法⇒大手事業者の取り込み
- インバウンド・IOTの取り込み
- 金融機関向けビジネスの拡大
・プロセッシング/スマートペイ事業

金融関連事業

- MSB開始
- 後払い拡大・ツケ払いの開始

- MSBアセット増大と収益性向上
- 与信データの蓄積⇒パーチャスファイナンス

決済活性化事業

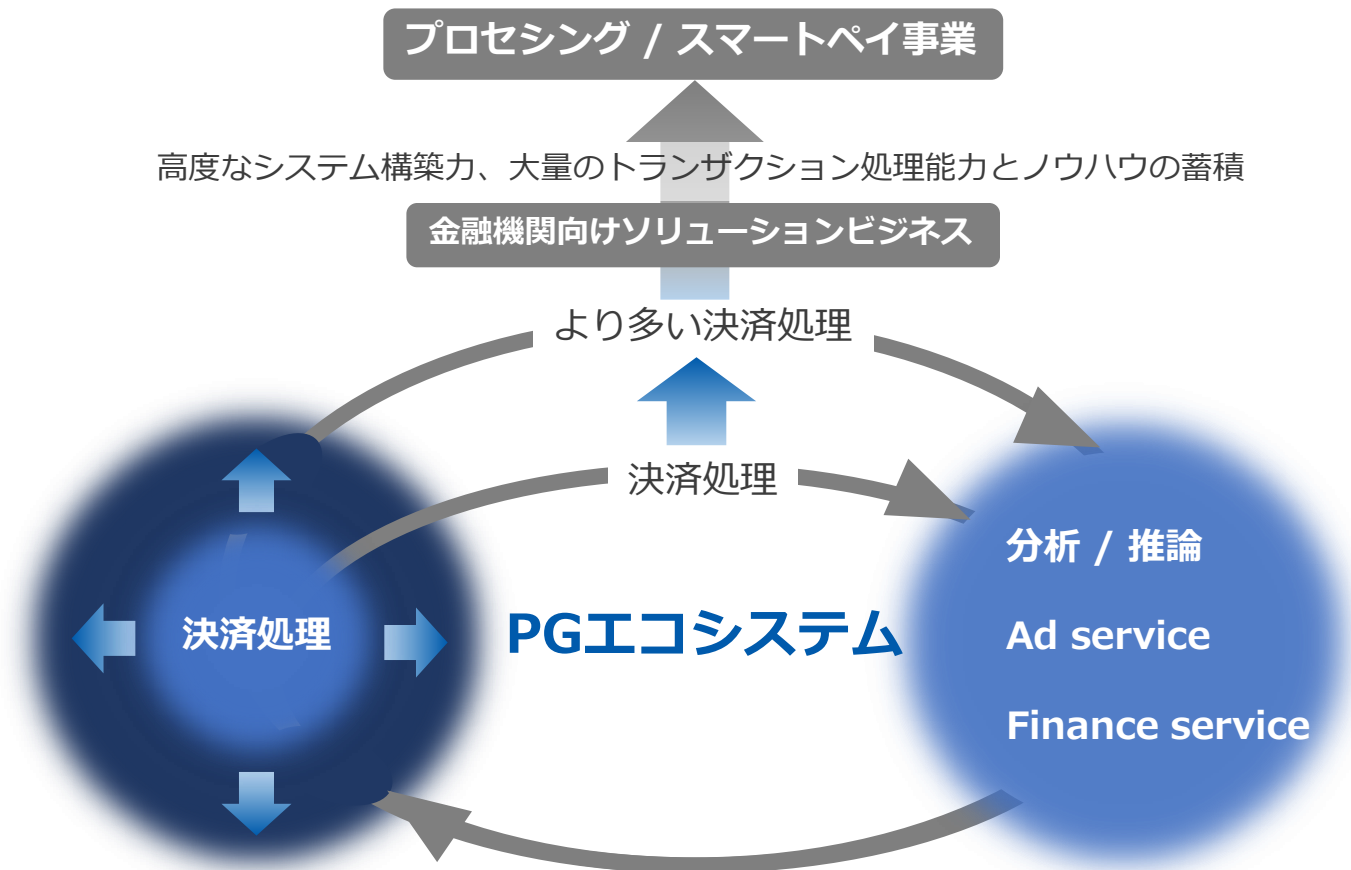
- 集客支援サービス
- MKをグループ会社化

- 還流モデル強化への貢献
- 海外事業の本格収益化

3.3 今期、特に注力する3つの戦略

還流モデル（エコシステム）強化と新領域（プロセッシング/スマートペイ）

戦略2) プロセッシング及びスマートペイ事業の推進

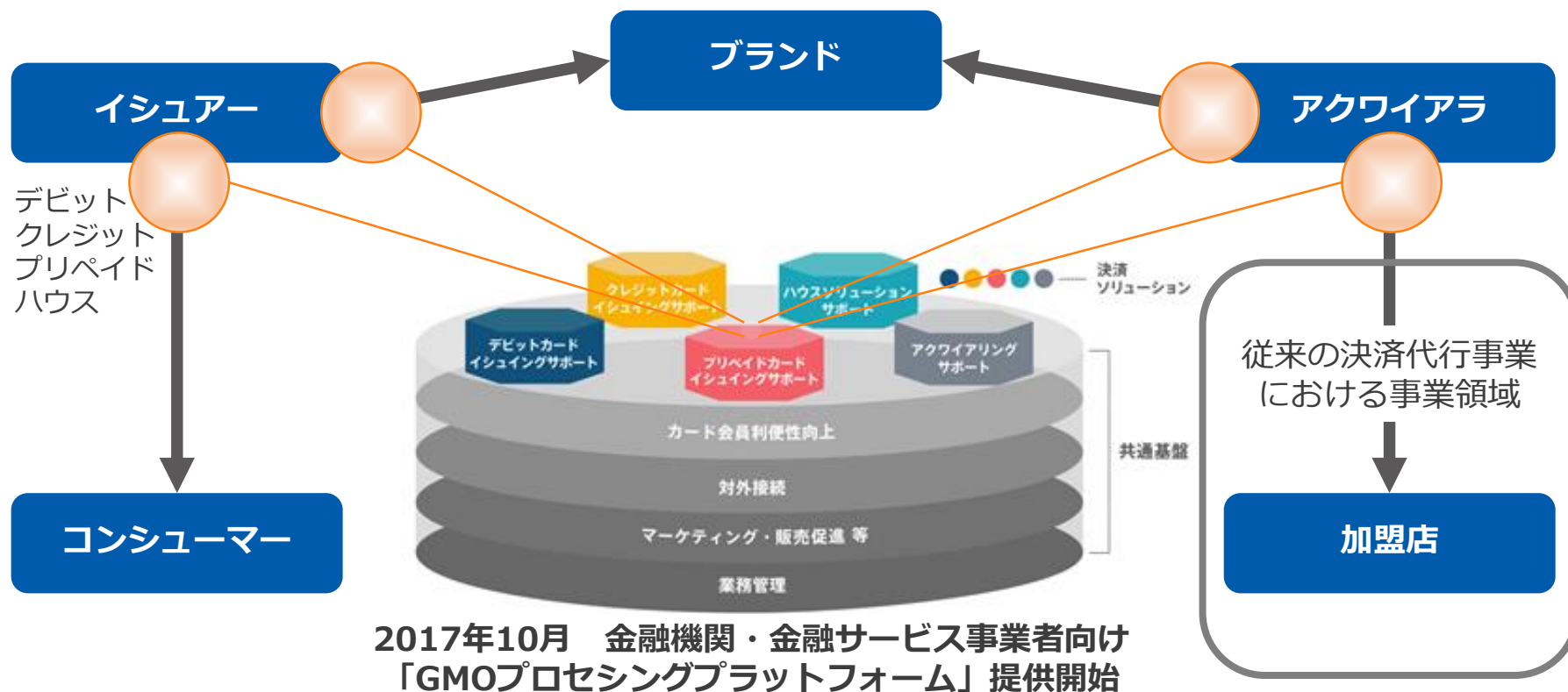


戦略1) 大手加盟店獲得による
決済ビジネスの拡大

戦略3) 金融関連事業の拡大

3.4.1 決済代行事業：プロセッシング/スマートペイ事業

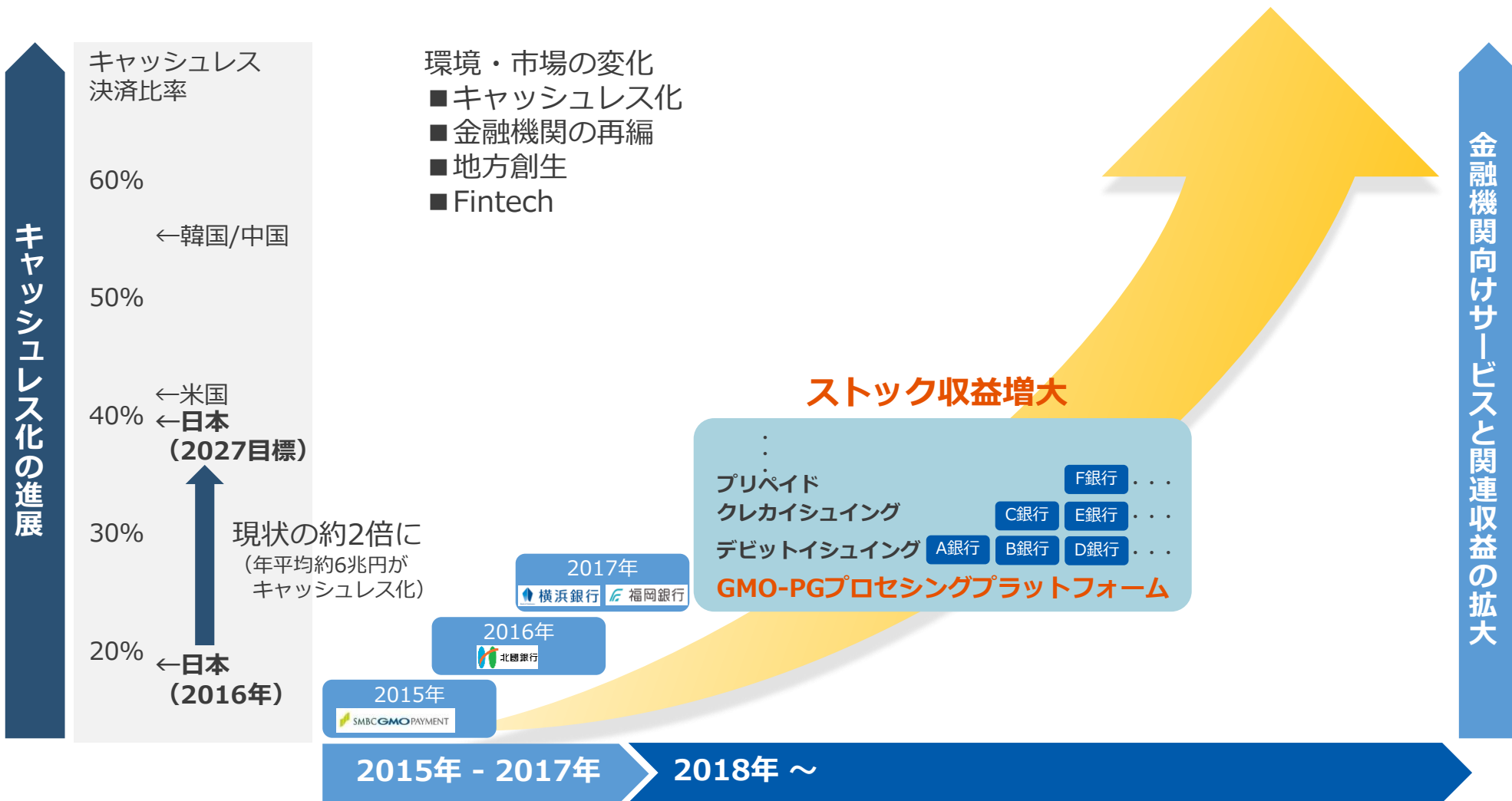
従来の加盟店向けサービス提供から、金融機関向けに、サービス領域を拡張



金融機関等向けサービス売上は前年比約3倍増を計画
ストック収益増大

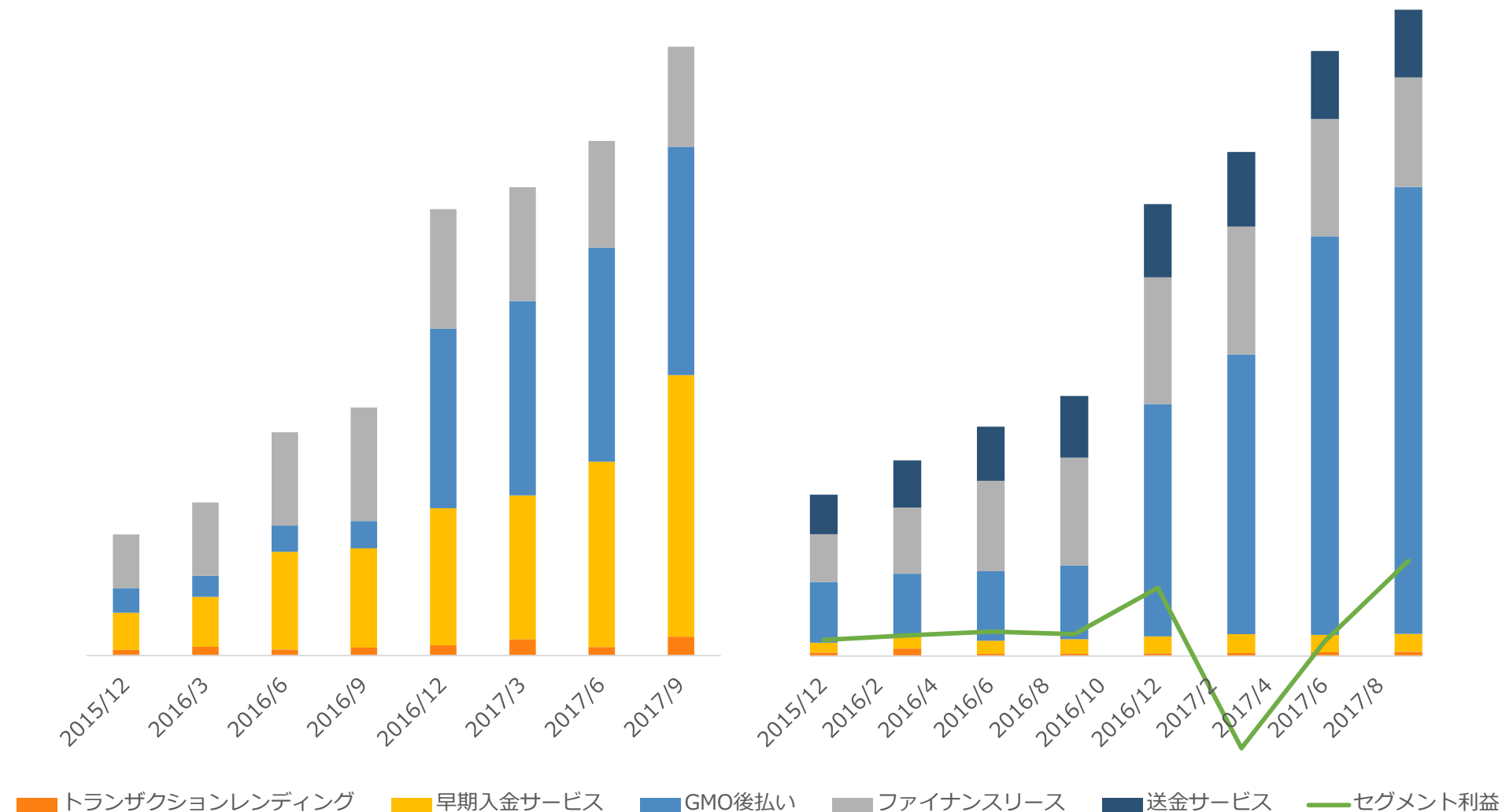
3.4.2 決済代行事業：プロセッシング/スマートペイ事業

金融機関等のFinTech展開を支援し、決済のキャッシュレス化を推進



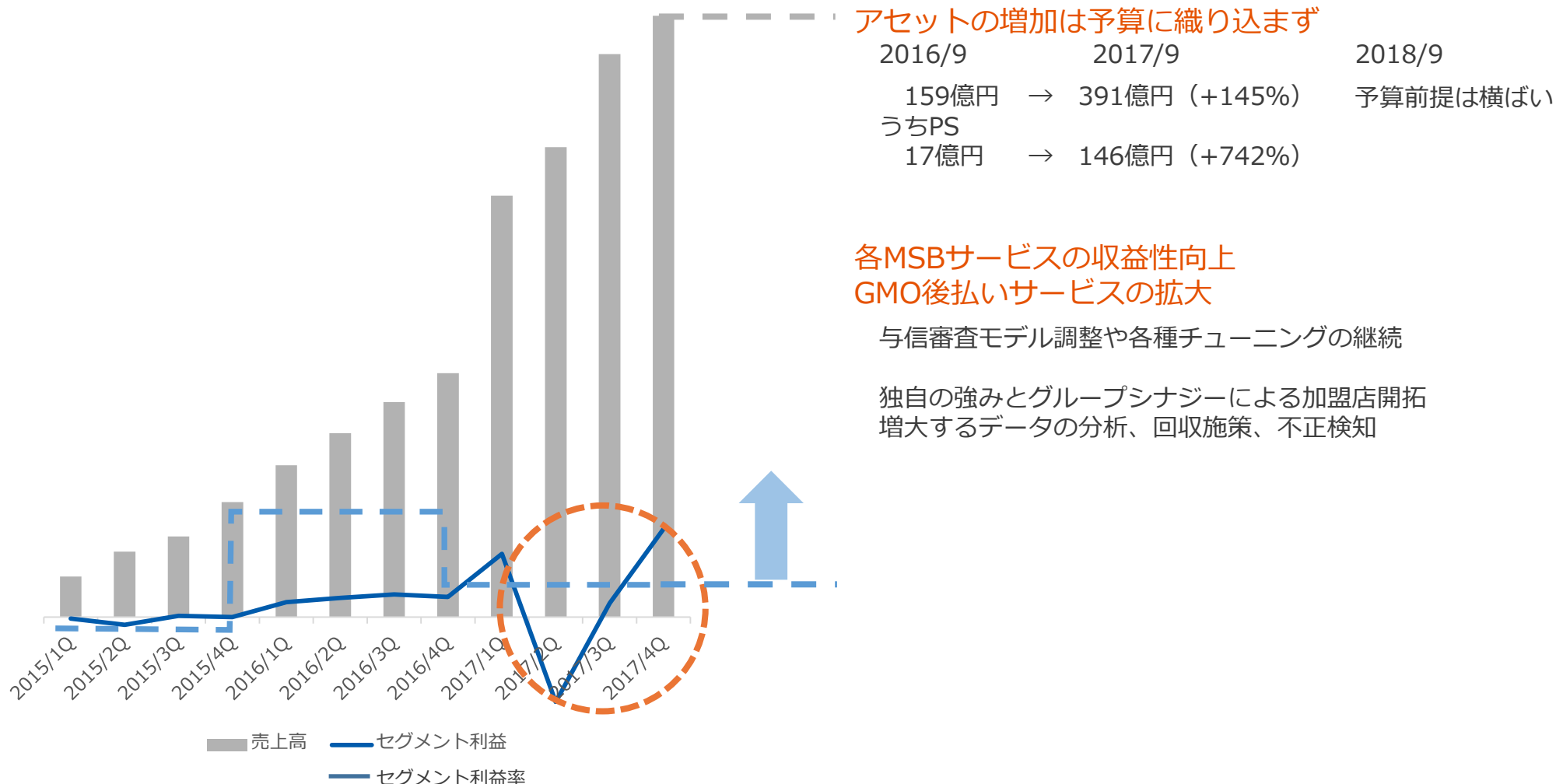
3.5.1 金融関連事業

アセットと売上高は順調に成長、セグメント利益は四半期で最大に



3.5.2 金融関連事業

MSBサービスの収益性向上に取り組み、セグメント利益の拡大を目指す



・ アセットの増加は予算に織り込まず

2016/9	2017/9	2018/9
159億円	391億円 (+145%)	予算前提は横ばい
うちPS 17億円	146億円 (+742%)	

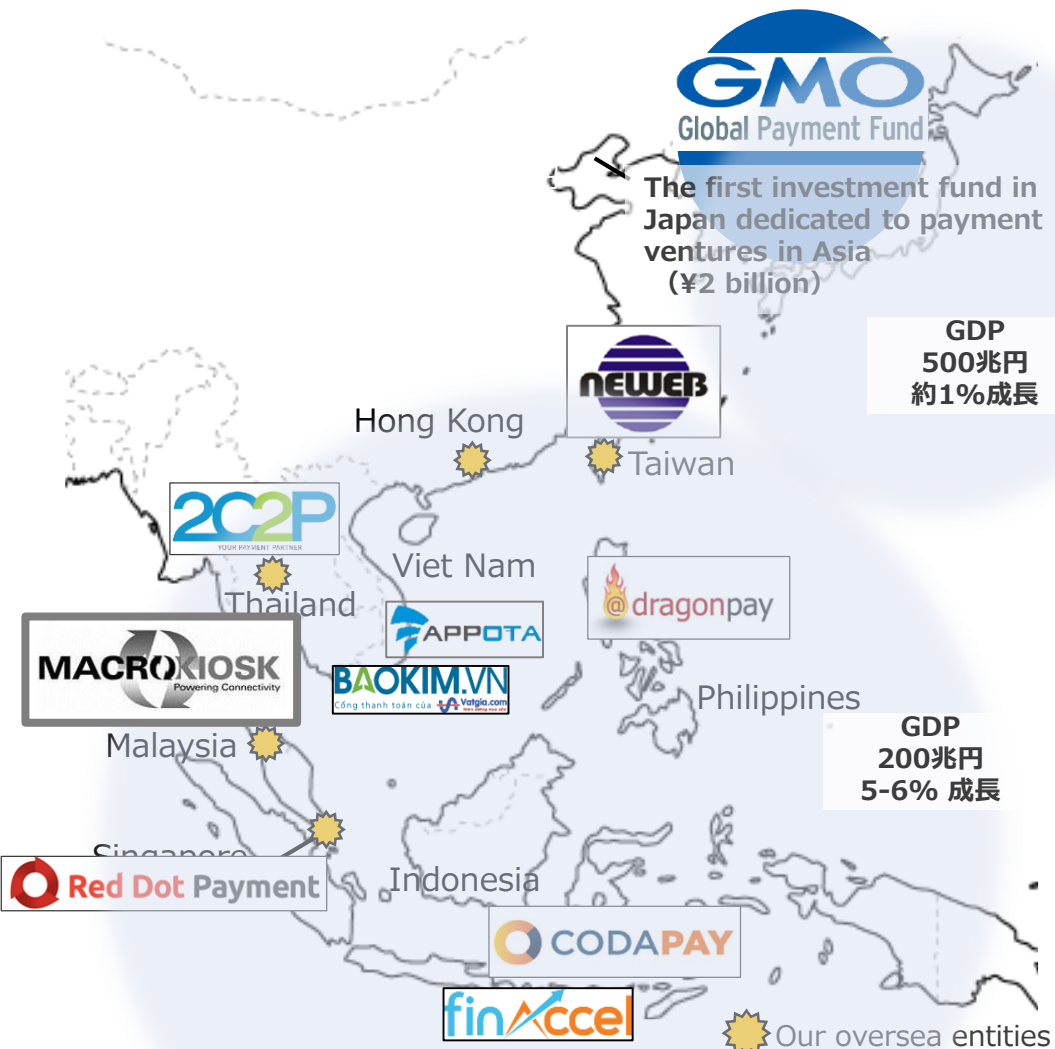
各MSBサービスの収益性向上
GMO後払いサービスの拡大

与信審査モデル調整や各種チューニングの継続

独自の強みとグループシナジーによる加盟店開拓
増大するデータの分析、回収施策、不正検知

3.6 海外事業の成長戦略（橋頭堡確保から拡大期へ）

地域拡張・領域拡張・世界大手との提携 3つの戦略で各市場を牽引



2017

- ASEAN事業・投資先ポートフォリオ引き続き競合なく当社グループがリードする市場NO1ポジションを維持

- 提携・投資先決済代行会社はいずれも売上/年率50-150%成長中
損益/黒字転換する会社も増加中

2018

- (持分対象)2C2Pは、タイで米大手、中国大手との提携を梃子に、決済機能の提供先拡大

- (連結対象)MacroKioskと経済成長力旺盛な新進出国を選定・準備中

- (一部出資)海外でも後払い事業者と提携

4. 財務ハイライト

4.1 連結貸借対照表

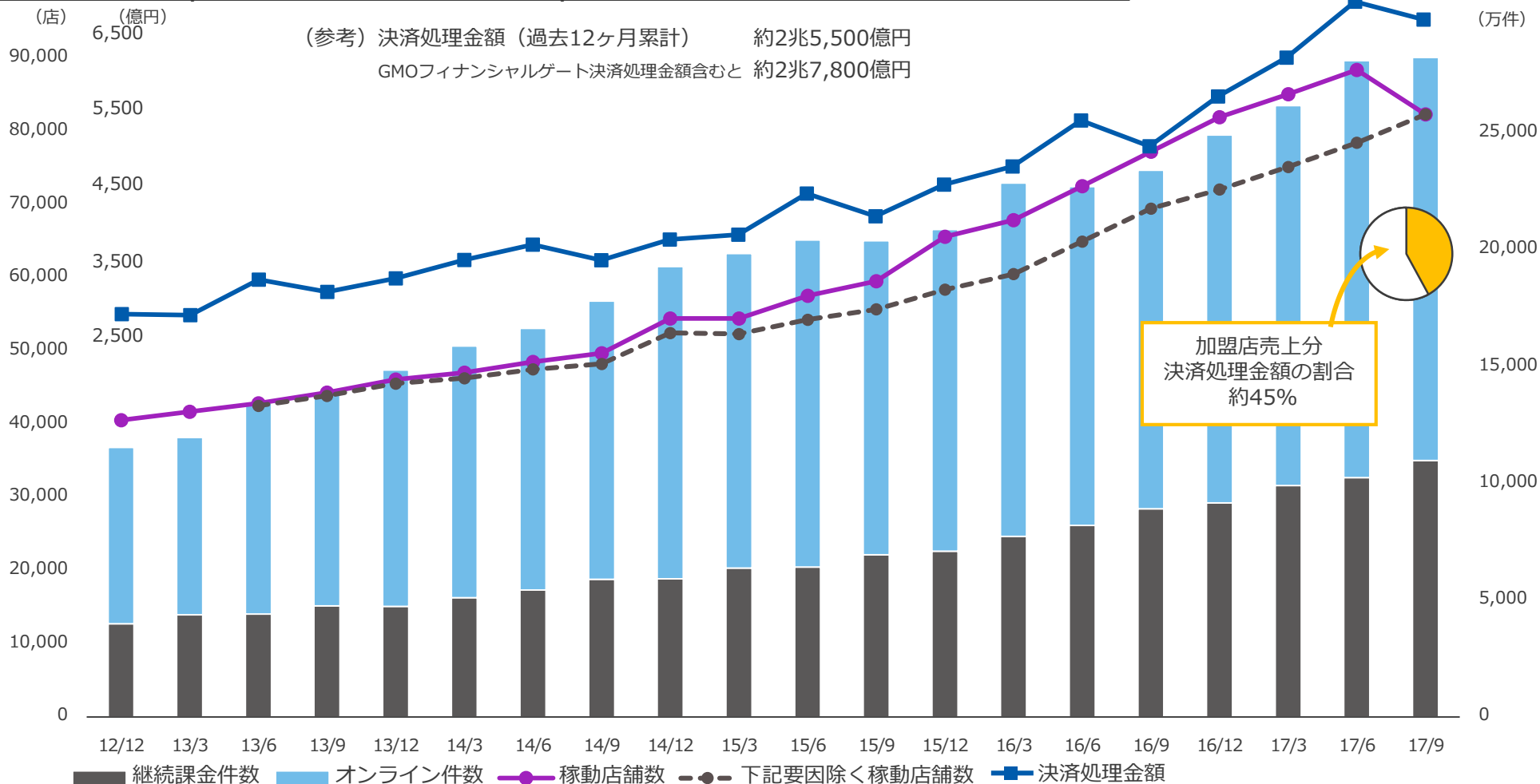
後払い及び早期入金サービス関連アセットが100億円超の増加

(百万円)	17年9月期 4Q末実績	16年9月期 4Q末実績	増減	(百万円)	17年9月期 4Q末実績	16年9月期 4Q末実績	増減
流動資産	72,347	45,549	26,798	流動負債	57,820	35,330	22,489
現金及び預金	27,623	25,231	2,391	短期借入金	0	50	△50
リース債権	6,426	7,291	△864	ファイナンス・リース関連 一年内返済長期借入金	827	17	809
短期貸付金	1,218	515	702	預り金	37,406	27,634	9,772
前渡金	16,806	6,388	10,417	TL残高拡大			
未収入金	14,678	1,742	12,935	早期入金サービス拡大 (BS残高は連結処理(相殺)後)			
貸倒引当金	△2,393	△327	△2,065	未払金	12,495	2,784	9,710
その他の流動資産	7,987	4,706	3,280	その他の流動負債	7,918	4,843	3,074
固定資産	10,803	9,222	1,581	GMO後払い増加			
有形固定資産	399	352	47	固定負債	3,644	332	3,312
無形固定資産	4,505	3,698	807	長期借入金	2,999	30	2,969
のれん	1,619	1,686	△67	その他の固定負債	645	302	342
ソフトウェア	1,586	1,079	507	株主資本	20,229	18,305	1,923
投資その他の資産	5,898	5,171	726	資本金	4,712	4,712	0
投資有価証券	2,704	2,251	453	その他の包括利益	364	△145	509
関係会社株式	2,318	2,203	115	累計額			
資産合計	83,151	54,771	28,379	関係会社有価証券の増加			
				純資産合計	21,686	19,108	2,578
				負債・純資産合計	83,151	54,771	28,379

4.2 主要KPI推移 (四半期推移)

年間決済処理金額は約2.5兆円に

稼働店舗数 82,349店、決済処理金額 約6,700億円、決済処理件数 約2億8800万件



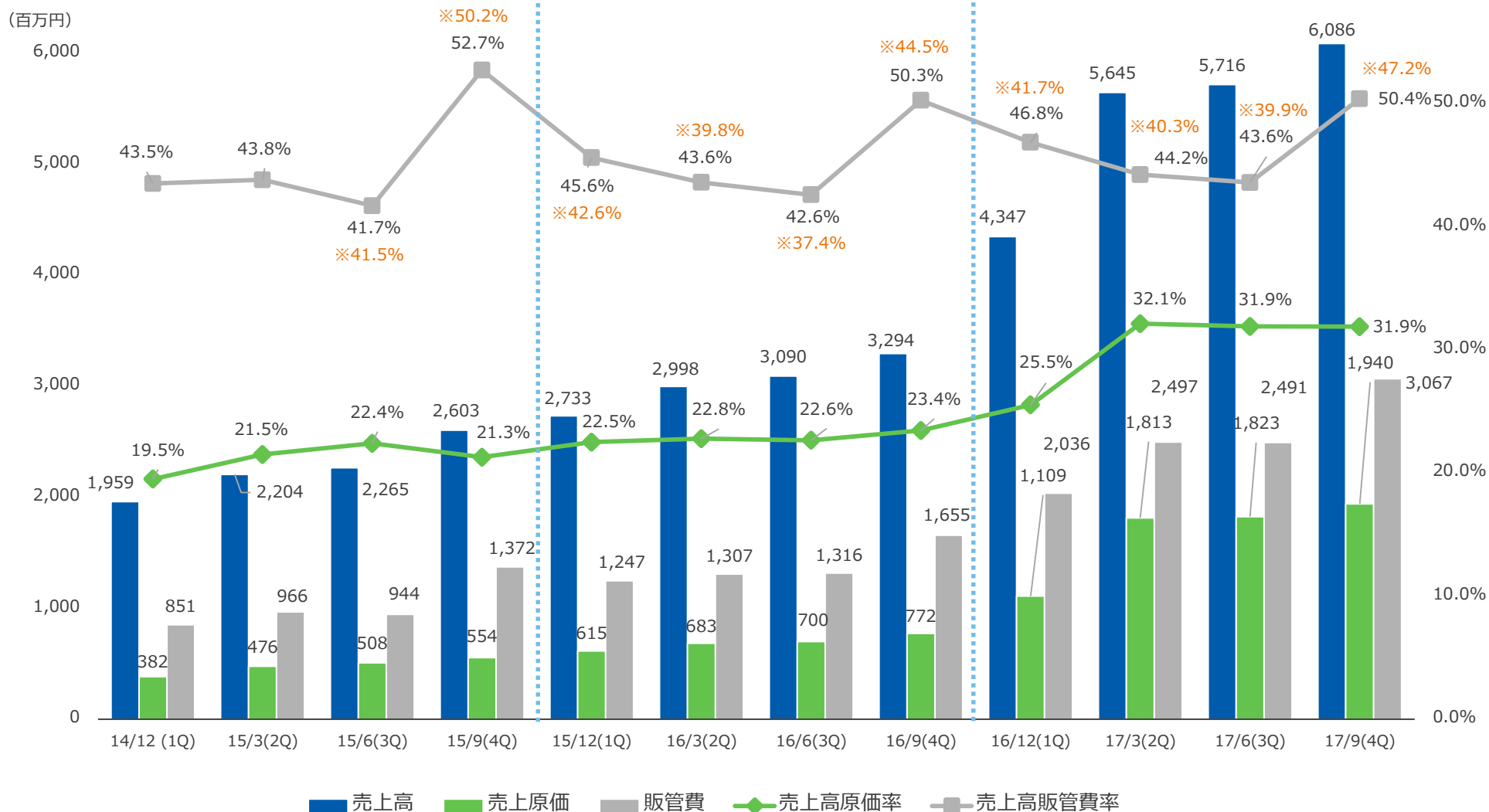
※一提携先のサービス停止に伴うまとまった休止の発生により、稼働店舗数は3Q比減少 ※稼働店舗数は四半期末時点、決済処理金額・件数は各四半期毎の実績

5. 参考資料等

5.1 売上高原価率・販管費率（四半期推移）

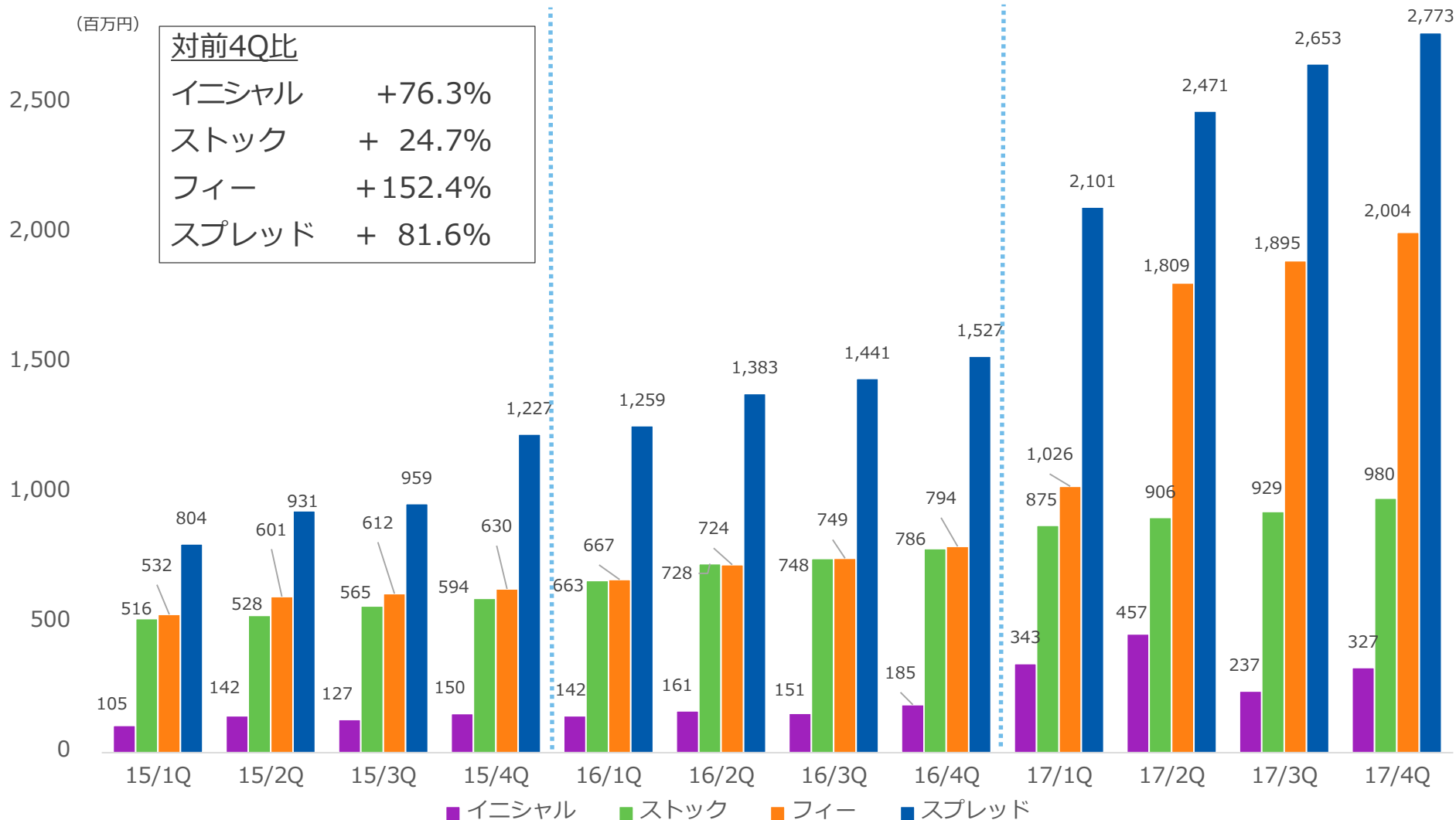
売上構成比の変化により原価率が変動

※MSBに関わる発生外部費用を除いた値



5.2 ビジネスモデル別売上（四半期推移）

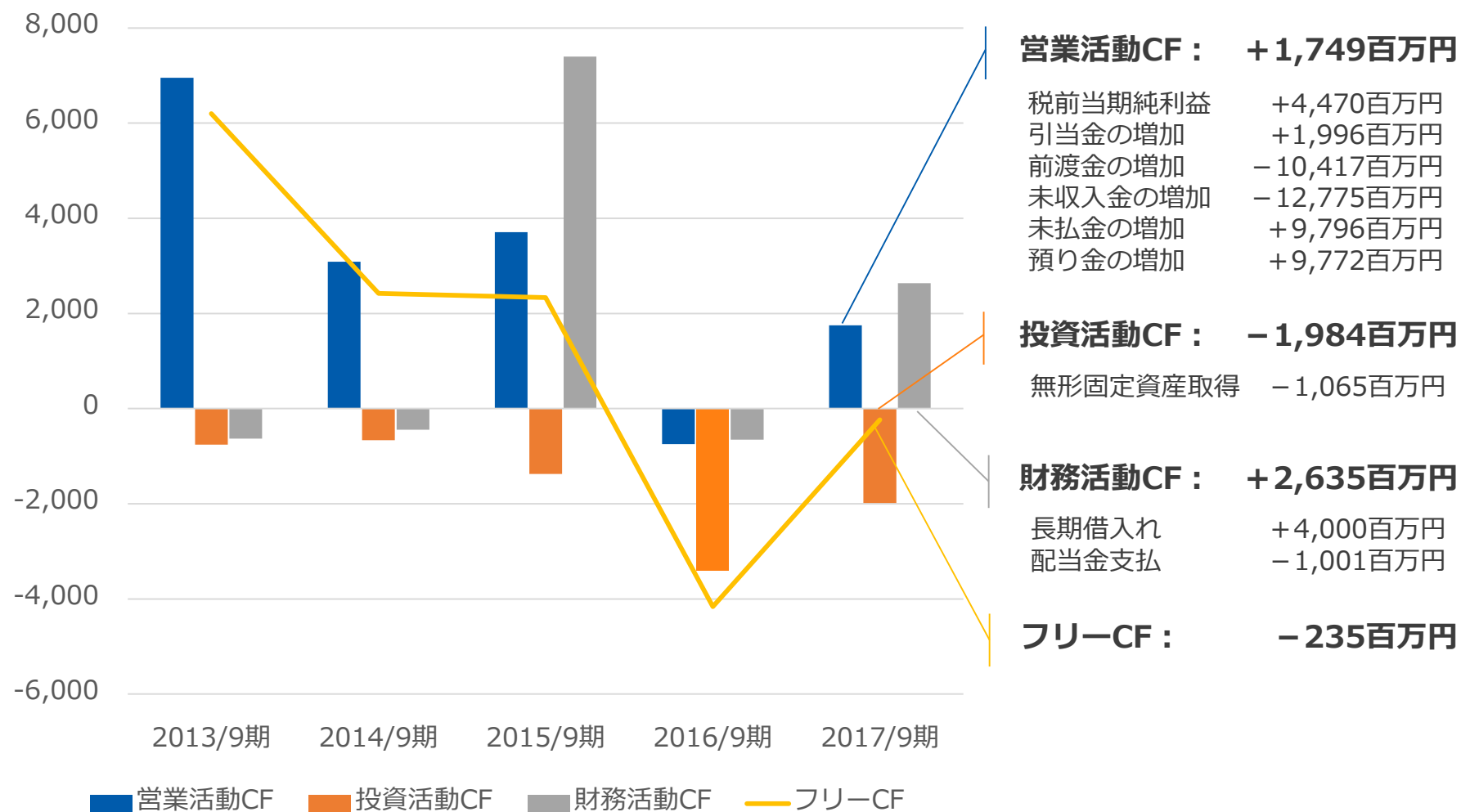
全ビジネスモデルで売上成長が加速



※「GMO後払い」売上高を、今2Qよりフィーとスプレッドに分割し集計しております。

5.3 連結キャッシュフロー計算書

利益成長と預り金増より営業CFはプラス、MSB拡大に伴い40億円借入実施



ありがとうございました

GMO PAYMENT GATEWAY

GMOペイメントゲートウェイ株式会社
(東証一部 3769)

IRサイトURL <https://corp.gmo-pg.com/>

お問合せ・個別取材のお申込みは、企業価値創造戦略 統括本部 IR室までご連絡ください。

IR室 TEL:03-3464-0182